

新型コロナ医療・介護職にとっての対応課題

新型コロナ感染広がりは在宅ケア、施設ケアに関わる医療・介護職にとって、さまざまな教訓と課題を提起しました。在宅医療を核とする地域包括ケアを進めて来た福祉フォーラム・ジャパンとしましても、この1年半余りの取り組みを振り返りつつ、主に医療・看護・介護職向けにその対応策を改めて考えたいと思います。

日時：**2021年6月26日(土) 13:30~15:00**

講師：松永 早苗 氏 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 准教授

伊東 弘泰 氏 アビリティーズ・ケアネット株式会社 代表取締役会長兼社長

コメンテーター：新田 國夫 氏 日本在宅ケアアライアンス理事長

司会：山路 憲夫 氏 小平学・まちづくり研究所 所長

会費： 会員 無料 一般 1,000円 (先着 100名)

◎医療・介護職が対応すべきあり方と課題

講師は、医療・看護職希望の学生たちを対象に感染管理を神奈川県立保健福祉大学で担当、厚生労働省での新型コロナのクラスター対策にも加わり、実際に訪問指導をしてきた体験も踏まえ、松永准教授に医療・介護職がどのように対応してきたのか、その課題も明らかにしていただきます。

◎東京・府中市の高齢者施設でのクラスター体験報告

さらに高齢者介護やりハビリ施設に長年関わってきたアビリティーズ・ケアネット株式会社の伊東会長には、昨年春、自らの高齢者施設で新型コロナ感染を体験し、その対応に取り組んだ当事者として、その対応策と教訓を語って頂きます。

ワクチン接種がまだ開発されず、PCR 検査も十分行われない状況の昨年4月初め、日本全体の感染対策は、ほとんど手探り状態で、東京・府中市の介護付き有料老人ホーム(定員40名)で、新型コロナによるクラスターが発生。入居者、介護・看護職員に、急速に感染していたが、公の機関の支援がほとんどない状況の中で、約1か月でクラスターをくい止め、活動を継続することができた「決断と行動、関係者の協力」の報告。

◎新型コロナ対策に関する国の支援対策、最新情報の紹介

在宅ケアに長年取り組み、今回の新型コロナ対応策にも深くかかわってきた新田医師からもコメントを頂きます。

参加申込： 6月 19日（土）までにFAXまたはメールにてお申し込み下さい。
登録いただいたご指定のアドレス宛にID等をご連絡致します。
*会員外の方は下記振込先までご入金をお願い致します。
ご入金確認後、ID等ご連絡させていただきます。

参加費のお振込み 一般の方はAまたはBの方法でご入金をお願い致します。

A 銀行振込： 銀行名 りそな銀行／新都心営業部
□座番号 普通預金3220026
□座名 特定非営利活動法人 福祉フォーラム・ジャパン
*恐れ入りますが、振込手数料はお客様にてご負担をお願い致します。

B オンライン購入

こちらの販売ページからクレジットカードなどでご購入できます。
アビリティーズオンラインチケット販売ページ

<https://my.abilities.jp/lifecase/tokka/ffj20210626/>

オンラインでご購入いただいた方は、別途メールやFAXでの参加申し込みは不要です。

- 2021年6月26日「オンラインセミナー 新型コロナ医療・介護職にとっての対応と課題」
【参加申込書】 ご記入の上、メールまたはFAXにて送信ください

(E-mail) ffjinfo@ff-japan.org / **FAX:03-5388-7210**

会員No.		<input type="checkbox"/> 入会希望
フリガナ		
お名前		
所属		
役職		
ご連絡先	TEL :	
E-mail (必須)		

- 内容および出演者は一部変更になる場合がございます。
- ご記入いただいた個人情報は、受付・当フォーラム関連の開催のご案内以外の目的には使用いたしません。なお 取得・保有した個人情報には適切な保護措置を講じます。

主催： NPO法人福祉フォーラム・ジャパン
東京都渋谷区代々木 4-30-3 新宿ミッドウエストビル
(NPO法人日本アビリティーズ協会内)
電話：03-5388-7260 FAX：03-5388-7210
E-mail：ffjinfo@ff-japan.org HP：http://www.ff-japan.org/